

## 1 学校教育目標

○よく考える子 ○思いやりのある子 ○たくましい子

## 2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	○毎日が明るく楽しく、明日が待ち遠しい学校 ○「分かった。できた。」と達成感や成就感を味わえる学校 ○友達とふれ合い、人権や規律が守られ安心して過ごせる学校	
○児童・生徒像	○よく考える子………・基礎・基本の学力を身につけた子 ○思いやりのある子………・自分のよさや他の子のよさがわかる子 ○たくましい子………・基本的生活習慣を身につけた子	・気づき、考え、実行する子 ・自ら学ぶ姿勢を身につけた子 ・相手の話をしっかり聞くことができる子 ・健康づくりにはげむ子
○教師像	○児童の学力向上や体力向上のため、惜しまず力を注ぐことのできる教師 ○一人一人の児童の人権を大切にし、児童、保護者、地域から信頼される教師 ○課題解決のためにチームとして力を合わせ、全力を出してやり遂げる教師	

## 3 学校の現状及び前年度の成果と課題

### 【学校の現状】

- 児童について…学校全体としては明るく、素直な児童が多い。異学年との交流も多く、休み時間などでは、異学年と遊ぶ姿が見られる。学習面では、基礎的基本的な内容の確かな定着と活用力の向上が課題である。
- 教職員について…若手教員の割合が高い。「わかる授業・わくわくする授業・笑いのある授業」づくりに取り組んでいる。学校経営に参画する意識も高まっており、誠実に職務を遂行している。
- 保護者・地域について…保護者・地域の方々は、学校教育に理解があり、協力的である。開かれた学校づくり協議会の方々・保護者の方々には、毎朝児童の登校を見守っていただいている。学校行事では、保護者と地域の方々にご協力いただき、子どもたちの笑顔あふれる時間となっている。

### 【前年度の成果と課題】

#### 1－重点的な取組事項 学力向上

- 区学力調査では、国語の通過率は85.6%で、昨年と比較すると5.9ポイント上昇した。課題であった「書くこと」「読むこと」は、説明的文章の読み方、自分の考えや根拠を明らかにして記述についての指導が成果を上げた。算数の通過率は85.5%で、昨年と比較すると6.5ポイント上昇した。課題であった「図形」は、繰り返し学習と課題解決型学習の指導の充実が成果を上げた。
- 授業では多くの機会でICTを活用した。AIドリルと共に効果的に活用を工夫していく。

#### 2－重点的な取組事項 楽しい学校生活の実現

- 肯定的に「学校が楽しい」は(昨年度より+2.5で)86.4%、「自分にはよいところがある」と回答した児童は(昨年度より+5.6で)76.4%であった。児童に「分かった。できた。」と達成感や成就感を味わえる授業づくりと一人一人の児童に居場所のある学級づくりに今後も努めていく。

3－重点的な取組事項 体力向上

○都の平均を上回った種目数は、昨年度より4種目増え、96種目中62種目（65%）あった。反復横跳び・シャトルランは良好で、50m走・ボール投げに課題がある。

○肯定的に「すすんで運動をしている」と回答した児童は（昨年度より+8.7で）81.3%であった。今後も運動に親しませるため、外遊びの励行や体育科指導の改善を図る。

#### 4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R4	R5	R6	R7	R8
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	楽しい学校生活の実現	○	○	○	○	○
3	体力向上	○	○	○	○	○

#### 5 令和6年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)	実施結果 (通過率結果)	コメント・課題			達成度 ◎△●		
授業力向上により、児童の学習意欲を高め基礎学力を向上させる。		区学力調査目標通過率 国語 80% 算数 80%	自己評価の際に記入						
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎△●
1 継続	授業力の 向上	全学年 4教科	・通年	・管理職による授業観察と 指導・助言 ・教科専門指導員による授 業観察と指導助言 ・相互授業参観、OJTの 実施	・児童 アンケート	・授業がわかる 90%	自己評価の際に記入		

2 継続	ICT を活用 した学習	全学年 4 教科	・ 通年	・ 視覚的にわかりやすい授 業づくり ・ 授業の展開時での効果的 な活用	・ 実施報告	・ I C Tを週 5 回以上活用し た授業
3 継続	AI ドリル の活用	全学年	・ 通年	・ 朝学習、補充学習、授業 等での活用 ・ 家庭学習での活用	・ 実施状況の 確認	・ 月 300 問 回答
4 継続	補充授業	全学年	・ 通年	・ 月 1 時間、補充授業の実 施 ・ 複数体制での実施 ・ 区調査の活用	・ 算数のまと めワークテス ト(再テスト 含む)	・ 7, 12, 3 月のま とめのワーク 1～4 年 80% 5・6 年 75% 通過率 80%
5 継続	放課後 補充教室	全学年 国語 算数	・ 通年	・ 月 3 回程度の放課後の 放課後補充教室の実施 ・ 全教職員による取組	・ 実施報告 ・ 算数のまと めワークテス ト(再テスト 含む)	・ 25 回程度実施 ・ 7, 12, 3 月のま とめのワーク 1～4 年 80% 5・6 年 75% 通過率 80%
6 新規	区調査の 活用	全学年 国語・算数	・ 2 月	・ 区学力調査を活用した 定着度調査 ・ 補充授業、教室の実施	・ 実施報告	・ 4 月調査 通過率以上
7 継続	家庭学習 の充実	全学年 算数・国語	・ 毎日 ・ 年 3 回	・ 「家庭学習のてびき」を 活用した家庭との連携 ・ 家庭学習週間の設定	・ 実施報告	・ 宿題の提出率 90%
8 継続	夏休み 学習教室	全学年 抽出児童 算数	・ 夏休み 期間中 10 日	・ 全校による指導体制 ・ 区学力調査等で把握した 学習内容の定着	・ 確認テスト の実施	・ 確認テストで 正答率 10% 以上のアップ

自己評価の際に記入

重点的な取組事項－２		楽しい学校生活の実現			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
学校が楽しい児童を増やす		学校が楽しい児童 90%	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
一人一人の居場所となる学習環境・生活環境づくり	学校が楽しい児童 90%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が分かる授業づくり</li> <li>・居心地のよい学級づくり</li> <li>・特別支援教育の推進</li> <li>・ふれあい月間の取組</li> </ul>	自己評価の際に記入		
自己肯定感の向上	自分にはよいところがある児童 80%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の活躍の場づくり</li> <li>・道徳科授業の充実</li> <li>・縦割り班活動、学校行事の充実</li> </ul>			
基本的な生活習慣の確立	早寝・早起き・朝ごはんの習慣が定着した児童 80%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣チェック（年3回）</li> <li>・「早寝・早起き・朝ごはん」週間の設定と保護者への啓発</li> </ul>			

重点的な取組事項－３		体力向上			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
体力向上		都の平均を上回るスポーツテストの種目数 65%	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
体力向上	スポーツテストの結果で都平均を上回る種目数 65%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育科指導の改善</li> <li>・実技研修会の実施</li> </ul>	自己評価の際に記入		

